

## 国際家政学会 (IFHE) プエルトリコ評議会報告

澤井 セイ子 (国際交流担当特別委員)

1998年評議会は、1998年7月12日から17日までプエルトリコ大学マヤゲーズ校にて、約180名(日本9, フィリピン8, 韓国・タイ・ヨルダン各2, マレーシア1で、アジアから24名)が参加し開催された。本評議会は、IFHE リストラを実施した最初の大会であるため、① 使用言語は英語のみ、開催国の母国語(スペイン語)は会員のボランティアにより逐語通訳、② 評議会の投票権を持つ正式な構成員が加盟団体だけでなく個人会員の代表も含める、③ 理事は各地区会から1名のみを選出、④ IFHE が生活の質の向上に寄与する研究を行っていることを明らかにするため、プログラム委員会の研究活動報告を行う、⑤ 家政学の将来についての討論会の開催など運営方法が大きく変わった。

ここではガーナ世界大会、IFHE Development Fund, その他(IFHEの国際高齢者年に関する決議を含む)を報告する。

### 1. ガーナ2000年大会について

第19回世界大会は、2000年7月23日から30日まで、ガーナの首都アクラのガーナ大学を主会場として、開催される。大会テーマは「新しい世紀—将来を見すえる。拡大する家政学の役割—人的資源の開発の視点から、生活環境の改善と人間の権利の擁護の視点から、家族・世帯の支援の視点から」、テーマに関する講演、研究発表、プログラム委員会による研究集会等が計画されている。別紙(1)は、研究発表要項である。

### 2. IFHE Development Fund について

IFHE リストラの1つとして1994年シェフィールド評議会で設置された開発基金委員会は、IFHE 開発基金についての最終案を提示、承認された。この基金は① 寄付金を貯蓄、その運用益により事業を行う、② 基金を事務局の運営費に利用できないようにする、③ 基金は学会の将来のため、例えば学生会員や若手研究者の国際学会への参加などの支援と共に、家政学を発展させる研究活動の推進に使う、④ 1998年から2000年までは、各国が基金の担当者を配置し、個別に基金の意義や利用法などについて会員に理解しても

らい、できるだけ多くの基金を集める、⑤ 地区会に代表をおくとした。アジア地区会は長島和子氏(日本家庭科教育学会副会長・千葉大学)を代表に選出した。

なお、アメリカで行った募金を集めた方法が紹介され、IFHE 会員の協力・協働の上に成り立つ基金についての理念を伝えた、IFHE が90周年を迎えたことから「\$90」を基金に寄付するという方法をとった、さまざまな会合でこの基金の趣旨を説明しその場で基金の寄付を受けると同時に寄贈品を賞品とする宝くじ券を売ってその売上げを基金とした等である。

なお、基金は、現在為替の変動が激しいことなどから、当分の間自国で管理し、その利子をIFHEの将来のために自国内で利用することを承認した。

最後に、この名称には、IFHE が「将来的に発展するための基金」と「特定地域を開発ための基金」の2つの意味が含まれるので、前者の意味が明確となる名称にするべきとの意見がだされ、[IFHE Fund for Development] を候補としたが、委員会で最終的に検討することになった。

### 3. その他

#### ① 国際高齢者年に関する決議について

1991年の国連総会にて、1999年の国際高齢者年の制定を採択した。「自立・参加・保護・自己実現・尊厳」の5原則を掲げ、「すべての世代のための社会をめざして」をスローガンにしている。国際女性年、国際家族年で開催された世界的な規模での国際会議が見送られたため加盟国の対応も遅れ、世界的にあまり知られていない。

IFHE 決議文の原案は、国連ニューヨーク本部IFHE 代表部からは提示されたが、評議会で徹底的に検討し、4回目に提示された決議文(別紙(2))が正式に承認された。

IFHE 評議会におけるこの決議文に関する争点は、「高齢者介護の主たる担い手」「高齢者の生活の場」「高齢者と子ども家族などのかかわり方」などである。南米と北米、西欧とアフリカ、先進国と開発途上国など、社会経済的な状況の違いにより、家族における高齢者の位置づけの異なることが当然ながら明らか

になった。

なお、地区別集會では、各国が独自に決議文の趣旨を生かした研究・実践活動を行う一方、1999年ARAHE横浜大会においても国際高齢者年についての決議に則った研究活動を行うことになった。

#### ② 新理事会のメンバーについて

会長、各地区担当副会長5名（新任はアフリカとアメリカ）、各地区代表理事5名（新任はアジア、2002年までの任期で澤井を選出）、次期会長（人選中）、財務局長、事務長、記録担当、次期大会実行委員長、国連ニューヨーク本部IFHE代表である。

なお、理事の人数が減少したため、個々の理事の仕事が多くなり、澤井は家政教育プログラム委員会、財務委員会、IFHE Development Fund委員会に所属することになる。

#### ③ 100周年記念委員会の発足について

IFHEは、2008年の創立100周年の記念事業を企画し実行することを目的として委員会を発足させた。アジア地区から佐藤文子氏（横浜国立大学家政教育学会代表・上越教育大学）が選出された。

#### ④ IFHEのインターネット・システムについて

事務局の仕事を合理化するため、インターネット・システムを活用することにし、今年の6月にIFHEのWeb (<http://www.ifhe.org>) を開設した。

現在は、理事会や委員会等の名簿、各プログラム委員会の活動報告、ガーナ世界大会、各地区会の案内、IFHE規約等が記載されている。1999年8月16～19日横浜にて開催される第10回ARAHE大会の案内も掲載される。

#### ⑤ 第20回（2004年）世界大会の開催について

「世界大会の開催地を地域的に偏らせない」「1988年から2008年までの10回の世界大会・評議会は、ヨーロッパ4回、アメリカ2回、アフリカ2回、アジア1回、パシフィック1回で、アジア地区の開催が望まれる」「多くの会員が日本での世界大会開催を強く要望している」などにより、日本は、2004年世界大会の開催について真剣に検討することを強く求められた。

今後のIFHEの会合は、2000年世界大会がガーナ、2002年評議会がフィンランド、2006年評議会が南アフリカ、2008年100周年記念世界大会がスイスとなっている。2004年世界大会だけが決定していない。

#### ⑥ 1999年理事会・プログラム委員会日程について

これまで毎年1月初旬にパリ市近郊にて開催した理事会とプログラム委員会は、来年は1999年2月12～

16日パリ市近郊にて開催されることになった。

#### ⑦ その他

・財務委員会から1996～97年の決算、1998～2000年の予算が提案され、承認された。財政状況は引き続き厳しく、「IFHE Bulletin」の発行も遅れている。

・2002年に事務局がフランスから移転することになっている。現在まで、事務局の受け入れを表明している国はフィンランドとドイツである。

・事務経費削減のため、インターネットの活用を推進することになる。その責任者である現事務長は2002年までにインターネット・システムを機能させるようにする予定であるが、2000年から2年間は無報酬で事務長の職を務めるとの申し出を行った。

#### 別紙(1)

#### IFHE 第19回世界大会 ガーナ2000年大会 自由研究発表募集

研究委員会は、ガーナ大会での研究発表の要項を以下のように、提示した。

#### 研究発表を受理するための基準

1. 筆頭発表者 (First Author) はIFHEの個人会員で、ガーナ世界大会に登録すること。なお、1報告のみ、筆頭発表者になれる。
2. 研究発表は、未発表のこと。
3. 研究発表は、家政学および家政学関連分野にとって社会的に意義があるか否かを基準に審査される。
4. 発表は大会テーマ「新しい世紀—将来を見すえる。拡大する家政学の役割 (A New Century: Focus on the Future. The Expanding Role of Home Economics, in Developing Human Resources, in Improving Living Conditions and Fostering Human Rights, in Advocacy for Families and Households)」に関連していること。
5. 国際的な視点に立った研究で、国際的にも適用できる発表が望ましい。
6. 発表は科学的な研究であり、基本的に新しい情報を含むものでなければならない。  
要約は、その科学的価値により審査される。
7. 評論系の論文・再検討した研究・進行中の研究は受理されない。
8. 領域分類は、以下の通りである。  
 Business       Consumer Behavior  
 Cultural, Ethnic, Gender Issues

## 国際家政学会 (IFHE) プエルトリコ評議会報告

- Education, Extension     Elderly, Handicapped  
 Environment             Family Economics  
 Food, Nutrition         General Home Economics  
 Health                 Households, Families, Individuals  
 Housing                 Resource Management  
 Social and Consumer Policy Issues  
 Technology, Energy    Textile, Clothing, Design  
 Theories, Methodologies & Philosophies  
 Other

## ガイドライン

1. 発表は、口頭かポスターかのいずれかで行う。
  - a) 口頭発表の時間は、発表者の紹介、発表、質疑応答を含め、15～20分である。
  - b) ポスター発表では、発表者は自らのポスターの前に2時間いなければならない。発表スペースは、受理した後に知らせる。視聴覚教材を用いた発表は、本大会では適切でない。
2. 研究委員会は、発表形式を口頭かポスターかについては基本的に発表者の希望を尊重するが、最終的な決定の権利は委員会にある。
3. 研究発表を行うためにかかる全費用は著者が支払う。国内委員会で受理されて、研究委員会に郵送するためにかかる諸費用は、発表者が負担する。
4. 受理された発表要旨は、提出された原稿のまま印刷する。使用言語は英語が望ましい。要旨と発表の言語は同じこと。提出された要旨はカメラでとれるようにしておくこと。英語以外のIFHEが認めている言語を使用する場合でも、要旨は必ず英語で提出のこと。
5. 発表希望者は、発表要旨6部を、1999年8月15日までに国内委員会（日本では、国際交流委員会内）に送付する。国内委員会は発表要旨を審査、1999年10月1日までに研究委員会に送付する。なお、発表希望者は研究委員会宛に直接送付しないこと。
 

委員長 Ir. Ans Groot Marcus  
 IFHE Research Committee Chair  
 WAU, Household and Consumer Studies  
 P.O. BOX 8060 6700 DA Wageningen,  
 Netherland
6. 最終審査は研究委員会で行う。審査結果は、1999年11月までに、筆頭発表者に通知される。
7. 要旨の書式に従って作成すること。要旨の書式は、IFHEのホームページ (<http://www.ifhe.org>)

に掲載されている。

- ① 表題・著者・所属・連絡先を明記のこと。
  - ② 要旨は150語まで、シングルスペース、ワープロかタイプで作成し、高品質で印刷すること。
  - ③ 序(背景、目的、目標)・方法・結果・考察を含むこと。
  - ④ パラグラフとパラグラフの間は1行あける。
  - ⑤ シングル・スペースを用いる。
  - ⑥ インデントは利用しない。
  - ⑦ 本文は完全に文字間を整える(左右のマージンは整える)。
  - ⑧ 表題のレイアウトは文字間を整えたままにしておく。
  - ⑨ 要旨はPCカメラマッキントッシュの3.5インチディスクで提出するのが望ましい。なお、ソフトはMS Word for Windows, Word Perfect (PC/Mac), MS Word for Macintoshが望ましい。
  - ⑩ ディスクのラベルには氏名とソフト名をはっきりと記すこと。
8. 要旨集には、発表者から提出された原稿から直接印刷することになる。したがって、発表の質の高さは、発表の基準やガイドラインを正確に守るか否かで決まる。
  9. 特に多くの若手研究者や院生の発表を期待している。

## 別紙(2)

## IFHEの国際高齢者年に関する決議(仮訳)

IFHEは、社会における家族の社会的・経済的な生活の中に高齢者が絶対に重要な役割を担っていることを認識するが故に、

高齢者が、尊敬をもって生きることのできる、生活の質を維持できる、そして社会における生産活動を担うメンバーとしての権利のあることを支持するが故に、多種多様な家族や地域社会の構造が高齢者の介助と高齢者への支援にとって最も重要である故に、

家政学が高齢者の身体的、心理的、経済的、社会的、精神的な安定(安寧)に影響を与える研究・政策・実践に深く関係している故に、

IFHEは、高齢者の権利と要求を擁護し認識する研究・政策・実践を行い、さらに、可能なかぎり、高齢者が自立(独立)できる、高齢者自身や社会に影響を与える意思決定に参画できる、尊敬と理解をえるためにすべての世代と相互作用(かかわりあえる)できる、尊敬を失わずに介助を受けられる、自己実現できるようにするための研究・政策・実践を企画し支援することを決議する。